

## 5. 招待講演・シンポジウム

(学術集会・大会・公的な研修会のみ記載, 一般・民間企業主催のは除く)

1. 信迫悟志  
(講演) これから出会うであろう子どもたちのメカニズムと支援  
～ハビリテーションと発達神経科学の立場から  
四條畷市教育委員会. 2018. 4月@大阪  
発達障害を有する児童のメカニズム及び支援方法について情報提供した.
2. 信迫悟志  
(講演) 子どもの運動の不器用さに対する支援  
南河内 LD 研究会 (児童教諭団体). 2018. 5月@大阪  
発達性協調運動障害の病態メカニズムと具体的支援方法について情報提供した.
3. 森岡 周  
(講演) ニューロリハビリテーションの目指すべき方向性  
一般社団法人京都府理学療法士会. 2018. 5月@京都  
ニューロリハビリテーションの目指すべき方向性を講演した.
4. 森岡 周  
(講演) 高次脳機能障害を中心とした脳卒中リハビリテーションの展開  
いわて運動療法研究会. 2018. 6月@盛岡  
高次脳機能障害を中心とした脳卒中リハビリテーションを解説した.
5. 森岡 周  
(講演) 歩行のニューロサイエンス  
公益社団法人日本理学療法士協会講習会. 2018. 6月@徳島  
歩行の神経科学を解説した.
6. 森岡 周  
(シンポジウム) 幻肢痛を含んだ身体性変容のメカニズムとニューロリハビリテーション  
第40回日本疼痛学会. 2018. 6月@長崎  
痛みを身体性の視点から解説して, そのリハビリを提案した.

7. 森岡 周

(講演) 半側空間無視の神経メカニズムに応じた臨床介入  
一般社団法人香川県作業療法士会. 2018. 6月@香川  
半側空間無視の神経メカニズムに基づくリハビリを解説した.

8. 信迫悟志

(シンポジウム) 小児における経頭蓋直流電気刺激  
第60回日本小児神経学会学術集会. 2018. 6月@千葉  
発達障害に対する経頭蓋直流電気刺激の有用性やリミテーション, 禁忌事項などについて情報提供し, ディスカッションした.

9. 森岡 周

(講演) ニューロリハビリテーションの目指すべき方向性 ー半側空間無視の病態把握プロセスから考えるー  
第21回日本臨床脳神経外科学会. 2018. 7月@金沢  
ニューロリハビリテーションの目指すべき方向性について半側空間無視を題材に提案した.

10. 森岡 周

(講演) 認知神経科学と心臓リハビリテーションの融合  
第24回日本心臓リハビリテーション学会学術集会. 2018. 7月@神奈川  
心臓リハビリを認知神経科学の視点から解説した.

11. 森岡 周

(講演) ニューロリハビリテーションの目指すべき方向性  
第38回近畿作業療法学会. 2018. 7月@大阪  
ニューロリハビリテーションの目指すべき方向性を解説した.

12. 信迫悟志

(講演) 認知神経理論, 高次脳機能障害 (USN, 失行) の病態理解と回復  
2018年度日本認知神経リハビリテーション学会ベーシックコース. 2018. 7月@福岡  
認知神経理論の考え方, および高次脳機能障害の病態メカニズムとリハビリテーションについて講義した.

13. 松尾 篤

(講演) 脳卒中患者の損傷脳の再組織化と機能回復のメカニズムについて  
公益社団法人 日本理学療法士協会 理学療法士講習会. 2018. 8 月@奈良  
脳卒中患者の損傷脳の再組織化と機能回復のメカニズムについて講演した.

14. 信迫悟志

(講演) 運動の不器用さを持つ子どもたちの支援について 発達神経科学と  
リハビリテーションの立場から  
河内長野市立加賀田小学校. 2018. 8 月@大阪  
発達性協調運動障害の病態メカニズムと具体的支援方法について情報提供した.

15. 信迫悟志

(講演) 運動の不器用さを持つ子どもたちの支援について ~発達神経科学  
とリハビリテーションの立場から  
阪南市立舞小学校. 2018. 8 月@大阪

16. 岡田洋平

(講演) パーキンソン病の歩行運動制御とリハビリテーション Up To  
Date  
第 1 回リハビリテーションのための姿勢運動制御研究会. 2018. 9 月@奈良  
パーキンソン病の歩行開始, 方向転換動作の行動データの特性を神経科学の  
知見を交えて考察した. また, 歩行左右非対称性に対する分離トレッドミル  
を用いた歩行練習の可能性についても述べた.

17. 植田耕造

(講演) Lateropulsion に対する直流前庭電気刺激の影響  
第 1 回リハビリテーションのための姿勢運動制御研究会. 2018. 9 月@奈良  
Lateropulsion に対する直流前庭電気刺激の影響を重心動揺と自覚的視覚垂直位の結  
果から示し, lateropulsion の病態や介入方法に関してディスカッションした.

18. 信迫悟志

(講演) 運動の不器用さのある子どもたちに対する理解と支援  
京都市地域リハビリテーション推進センター. 2018. 9 月@京都  
発達性協調運動障害の病態メカニズムと具体的支援方法について情報提供した.

19. 岡田洋平

(講演) パーキンソン病の理学療法 Up To Date

Japanese Neurologist Parkinson's Disease Seminar. 2018. 10 月@東京

パーキンソン病の理学療法に関するエビデンス, 部分免荷装置を用いた床上歩行練習の有用性, 歩行開始, 方向転換動作の行動特性に関して解説する.

20. 信迫悟志

(講演) 子どもの運動の不器用さに対する支援

南河内 LD 研究会 (児童教諭団体). 2018. 10 月@大阪

発達性協調運動障害の病態メカニズムと具体的支援方法について情報提供した.

21. 冷水 誠

(講演) 脳卒中患者に対する効果的な運動学習戦略

公益社団法人 大阪府理学療法士協会堺ブロック. 2018. 10 月@大阪

脳卒中患者の運動障害とパフォーマンス障害に対して, 運動学習理論およびそれらに関する先行研究に基づいた戦略方法についての情報を提供した.

22. 石垣智也

(講演) 維持期・生活期の 脳卒中リハビリテーション

日本理学療法士協会. 理学療法士講習会 (基礎編) 2018. 10 月@奈良

生活期における脳卒中リハビリテーションに関する知見を概説し, 生活期リハビリテーションに必要な視点について解説した.

23. 岡田洋平

(講演) パーキンソン病・症候群の疾患理解と支援の実際

京都市地域リハビリテーション推進センター. 2018. 11 月@京都

パーキンソン病・症候群患者の疾患概要, 症状, 経過, リハビリテーション, ケアの関わり方について解説した.

24. 森岡 周

(講演) 私らしさを取り戻すということー身体性システム科学の視点からー

第 16 回日本神経理学療法学会. 2018. 11 月@大阪

身体性の概念をリハビリテーションに取り入れることの意義を提案した.

25. 森岡 周  
（シンポジウム）歩行と身体意識  
第16回日本神経理学療法学会. 2018. 11月@大阪  
身体性の概念を歩行リハビリテーションに取り入れることの意義を提案した.
26. 森岡 周  
（講演）身体性システム科学とリハビリテーションの接点  
公益社団法人茨城県理学療法士会. 2018. 11月@茨城  
身体性の概念をリハビリテーションに取り入れることの意義を提案した.
27. 森岡 周  
（講演）姿勢と歩行のメカニズム  
一般社団法人吹田市理学療法士会. 2018. 11月@大阪  
姿勢と歩行の神経メカニズムについて解説した.
28. 森岡 周  
（講演）慢性疼痛の脳内メカニズム  
第36回日本神経治療学会. 2018. 11月@東京  
慢性疼痛の脳内メカニズムについて解説した.
29. 岡田洋平  
（講演）病期別理学療法  
公益社団法人 日本理学療法士協会. 理学療法士講習会. 2018. 12月@京都  
パーキンソン病の病期別理学療法のエビデンスと介入方法について解説した.
30. 信迫悟志  
子どもたちにみられる運動の不器用さの原因と支援  
—発達性協調運動障害の理解—  
関西医科大学総合医療センター・研修会. 2018.12月@大阪  
発達性協調運動障害の病態メカニズムと具体的支援方法について情報提供した.
31. 森岡 周  
（講演）リハビリテーション過程における行為主体感と目標設定の重要性  
独立行政法人加古川病院機構特別研修会. 2018. 12月@兵庫  
身体性の概念をリハビリテーションに取り入れることの意義を提案した.

32. 岡田洋平

(講演) パーキンソン病の理学療法最前線

日本神経理学療法学会第2回 SIG s 参加型フォーラム. 2019. 1月@宮城  
パーキンソン病の歩行障害の特性, 機序, リハビリテーションにおける評価, 介入戦略について自身の研究成果を交えながら発表し, 参加者と議論した.

33. 信迫悟志

(講演) 高次脳機能障害に対する理学療法 -up to date-

第58回近畿理学療法学会. 2019. 1月@奈良

失行と半側空間無視を取り上げ, それぞれの症状, 病巣, 病態 (メカニズム), リハビリテーション手段について, 教育講演を行った.

34. 石垣智也

(シンポジウム) 生活期におけるハンズオフアプローチ

第58回近畿理学療法学会. 2019. 1月@奈良

生活期理学療法に求められるハンズオフアプローチについて, 近年の知見を紹介するとともに, 事例検討から適用可能性や限界点についての話題提供を行い, シンポジストとして議論した.

35. 森岡 周

(講演) 姿勢と歩行のメカニズムとニューロリハビリテーション

国立水俣病研究センター第10回リハビリテーション技術講習会. 2019.2月@熊本  
姿勢と歩行のメカニズムとそのニューロリハビリテーションを解説した.

36. 森岡 周

(講演) 脳科学の進歩に基づく回復期脳卒中リハビリテーションのあり方

回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会. 2019. 2月@千葉

脳科学の進歩とともに発展する回復期リハビリテーションを解説した.

37. 信迫悟志

失行・半側空間無視のメカニズムと理学療法

神戸医療福祉専門学校三田校理学療法士学科同窓会. 2019. 3月@兵庫

失行と半側空間無視を取り上げ, それぞれの症状, 病巣, 病態 (メカニズム), エビデンス/メカニズム・ベースド・リハビリテーション, ニューロモデュレーション, VR や AI などの先端技術介入, オーダーメイド・リハビリテーションについて解説した.

38. 岡田洋平

脳卒中の姿勢・歩行制御障害に対するアプローチ

福岡県理学療法士会 平成 30 年度専門理学療法研修会. 2019. 3 月@福岡

脳卒中の姿勢制御障害に対する評価や介入方法の情報提供や，歩行制御障害に対する取り組みなどを紹介した.

39. 森岡 周

失行症の病態メカニズムと責任病巣

第 7 回身体性システム全体会議. 2019.2 月@岩手

失行症の病態メカニズムについて心理物理実験と病巣分析の結果から考察した.

40. 森岡 周

身体性と精神疾患

公益社団法人日本理学療法士協会 第 4 回精神・心理領域理学療法部門研究会. 2019. 3 月@東京

身体性の視点から精神疾患の病態，特に統合失調症のメカニズムについて解説した.

41. 植田耕造

脳卒中の姿勢・歩行制御障害に対するアプローチ

公益社団法人日本理学療法士協会 福岡県理学療法士会 平成 30 年度専門理学療法研修会. 2019. 3 月@福岡

脳卒中の姿勢・歩行制御障害に対する評価や介入に関して講演した.